

授業科目名	教育方法・技術論 A (初等) (2100233)		
時間割名	教育方法・技術論 A (初等) (21114)		
時間割担当	正木友則 金山憲正		
実施期	後期	単位数	2 必修
曜日・時限	火・1		

授業の目標・概要

学校教育が直面する課題を確かな理解にもとづいて、学習を実りあるものへと導く「教育方法」を伝統的な教育方法論から最近の教育方法論の動向を紹介しながら、学校教育の実践を探究する基礎と学校教育方法の諸問題などについて、教育者としての主要な理論の理解と習得をめざす。

特に、教材研究のねらい及び教材研究の仕方を理解することと、具体的な事例をもとにより授業の構成の仕方が分かり IT を活用した指導技術を身に付けられるよう配慮する。

学習の到達目標

教育方法の意義を知るとともに、その基礎にある授業について、よい授業とはどんな授業であるかを知り、授業を展開する方法や技術を習得し、実践に役立てるようにする。史的経過を踏まえつつ、一斉学習と個別学習など今日的課題となっている学習方式を理解したり情報活用の技術などを身につけたりする。

授業方法・形式

1. それぞれの学習テーマに対して、資料や事前に指示された内容について各自が予習してきたことを活用しながら授業を進めていく。
2. 必要に応じて、取り上げるテーマに関するディスカッションを行う。

授業計画

- 第1回 教育方法と授業について - 教育方法の講座で学ぶこと (担当: 金山憲正)
- 第2回 教育方法の史的変遷 (担当: 金山憲正)
- 日本と諸外国について
- 第3回 授業と教育方法の基本原則 (担当: 金山憲正)
- 系統学習と問題解決学習について
- 第4回 授業とは何か (担当: 金山憲正)
- 良い授業とは、授業の構成要素について
- 第5回 教材研究と授業(1) (担当: 金山憲正)
- 教材研究の意味と教材研究の仕方について
- 第6回 教材研究と授業(2) (担当: 金山憲正)
- 授業の展開と学習指導案について
- 第7回 教材研究と授業(3) (担当: 金山憲正)
- 教授組織と学習組織について
- 第8回 よい授業と技術(1) (担当: 金山憲正)
- 教材教具・視聴覚機器の扱いについて
- 第9回 よい授業と技術(2) (担当: 金山憲正)
- 指導技術(発問・助言・机間指導)について
- 第10回 よい授業と技術(3) (担当: 金山憲正)
- ノートの取り方・板書の仕方について
- 第11回 授業と環境(1) (担当: 米川雅士)
- 情報教育メディアの活用と技術について
- 第12回 授業と教育評価 (担当: 米川雅士)
- 学習活動を観察し評価する方法と技術について
- 第13回 個の特性に応じた授業 - 習熟度別学習について (担当: 米川雅士)
- ITを活用した個別指導カルテ作りについて
- 第14回 新教育課程をめざした授業づくり (担当: 金山憲正)
- 学習指導の意味について
- 第15回 授業の総括として、これまでに学習してきたことについてまとめる。 (担当: 金山憲正)
- 講義内容の確認と整理、今後の課題の再認

成績評価の基準

授業への出席率と学習への取り組み方(30%)、レポート(30%)、期末テスト(40%)で評価する。

教育方法の基本的な事項が理解できているかの「知識・理解」は主として期末テストで、授業の仕組みを捉え、授業の構成の仕方及び指導技術の方法を把握できているかの「知的能力・技能」と「実践的能力・技能」は主として課題レポートで評価する。

準備学習・復習及び授

次回授業で取り扱うプログラムと資料を配付する。次回授業までに関連する範囲の内容を参考に新聞、雑誌、参考図書を読んで関心を高めておく。授業実践の力をつけるために理論や学説を覚えるだけではなく、実践と結びつけた理解ができるよう整理しておく。

履修上のアドバイス及

知識伝達式の学習指導ではなく児童・生徒が主体的な学習活動によって学び方を学び生きる力を身に付けていくような指導はどうあるべきかを常に意識しながら指導案作成や教材分析等の学修に問題意識をもって取り組んでください。

教材・教科書

テキスト：授業中に指示する

参考書

参考書：授業中に指示する